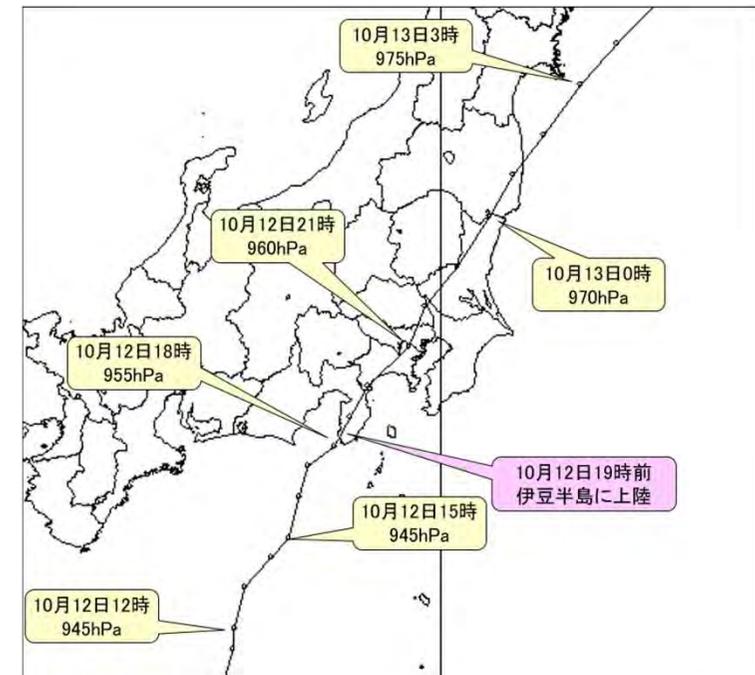


台風第19号の概要

【概況】

10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は、マリアナ諸島を西に進みながら、7日には大型で猛烈な台風となった。小笠原近海を北北西に進み、12日には北よりに進路を変え伊豆諸島北部を北北東に進んだ。12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し、13日未明に東北地方の東海上に抜けた（以上、速報解析による）。

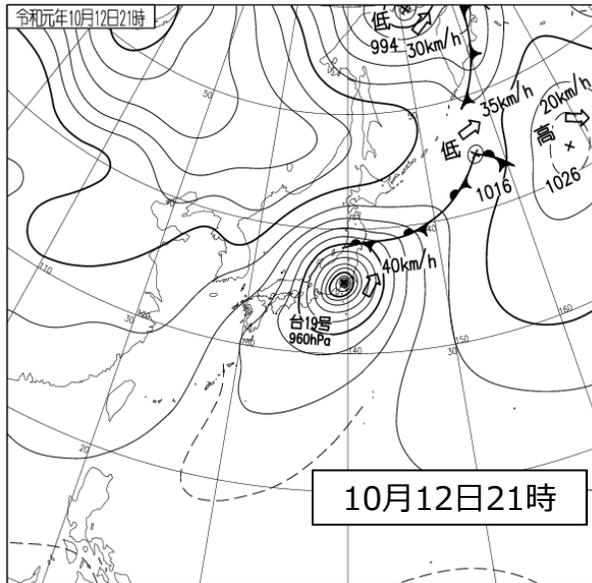


【上陸時の勢力】

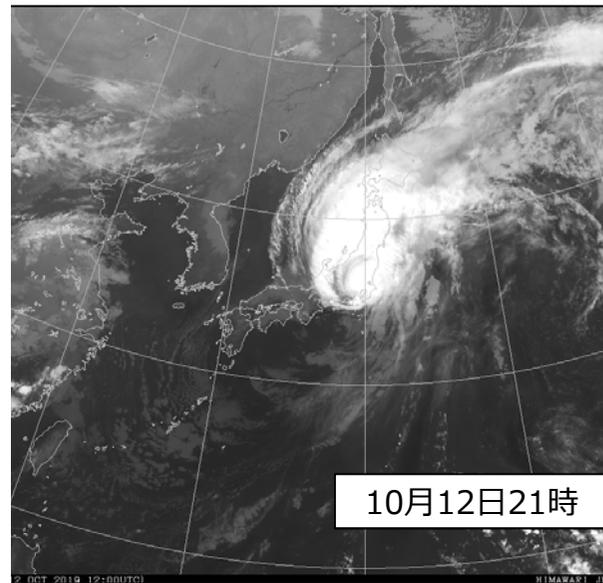
- 中心の気圧は955ヘクトパスカル
- 中心付近の最大風速は40メートル
- 最大瞬間風速は60メートルで中心の南東側330キロ以内と北西側260キロ以内では風速25メートル以上の暴風

10月12日21時の状況

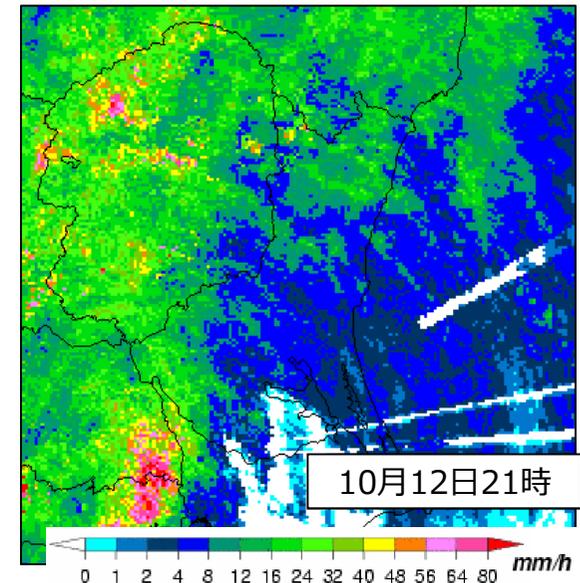
地上天気図



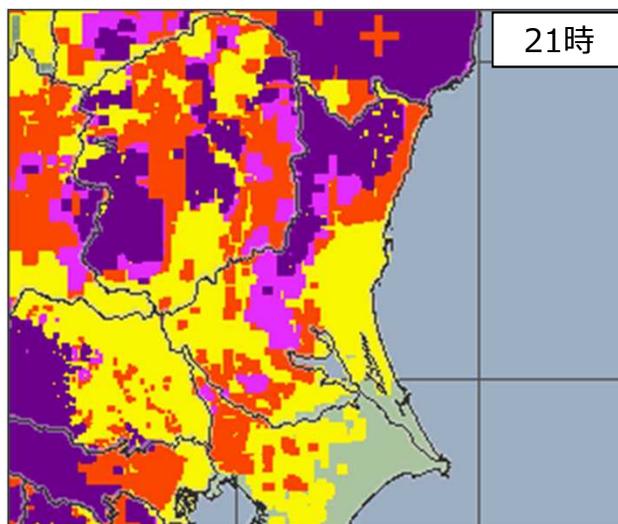
衛星画像 (赤外)



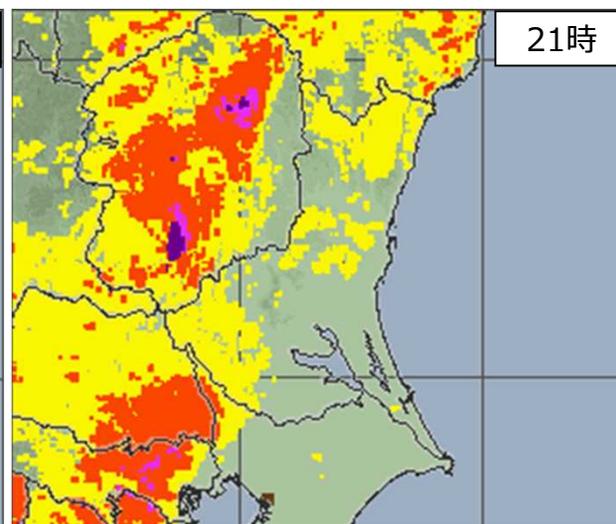
レーダー画像



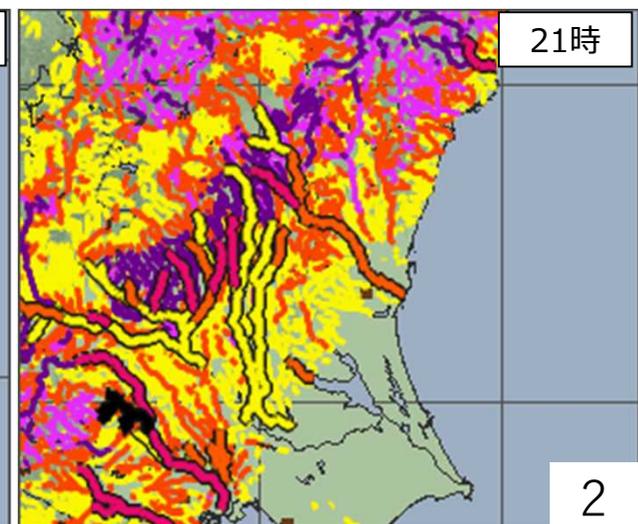
大雨警報 (土砂災害) の危険度分布



大雨警報 (浸水害) の危険度分布

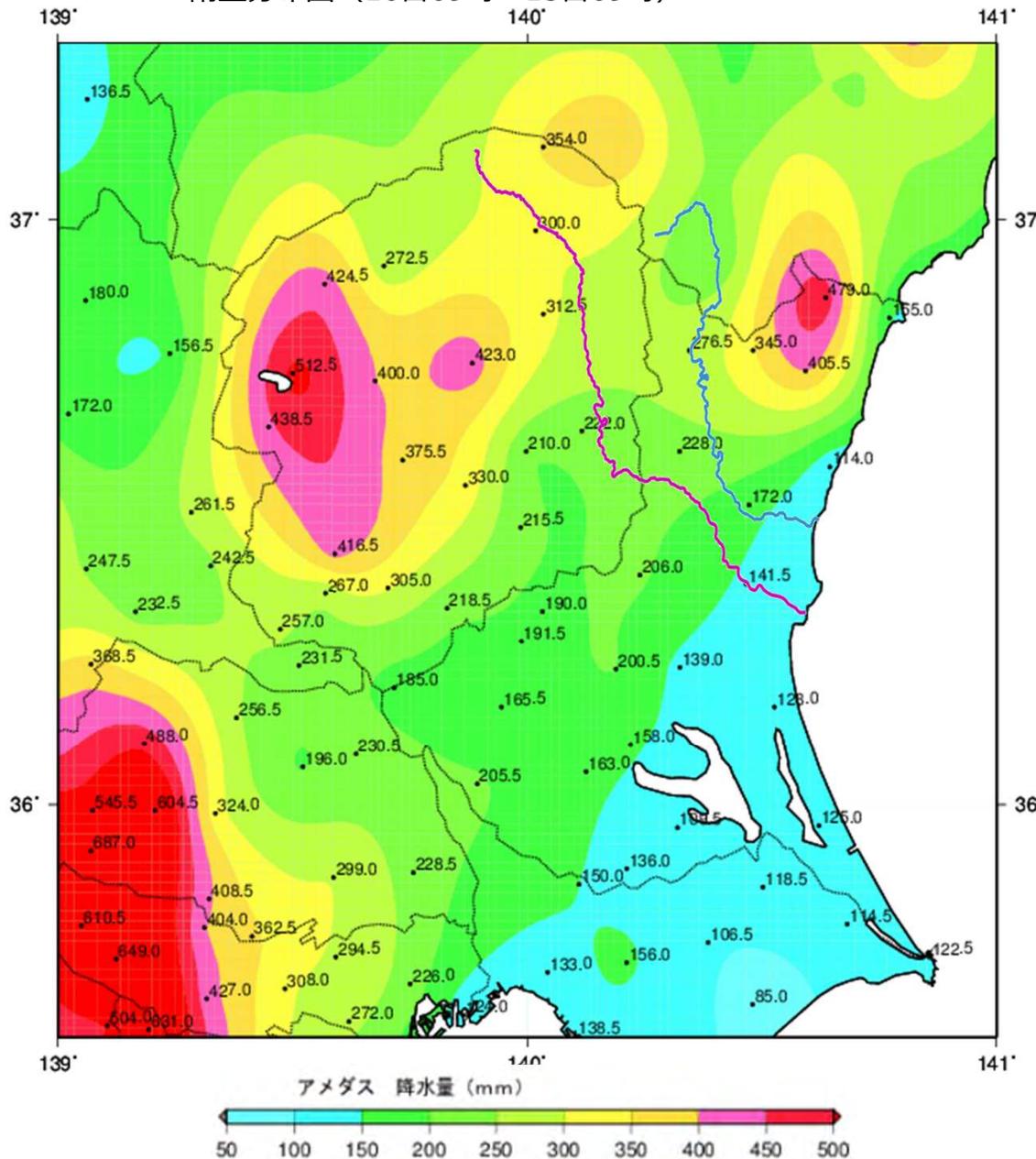


洪水警報の危険度分布

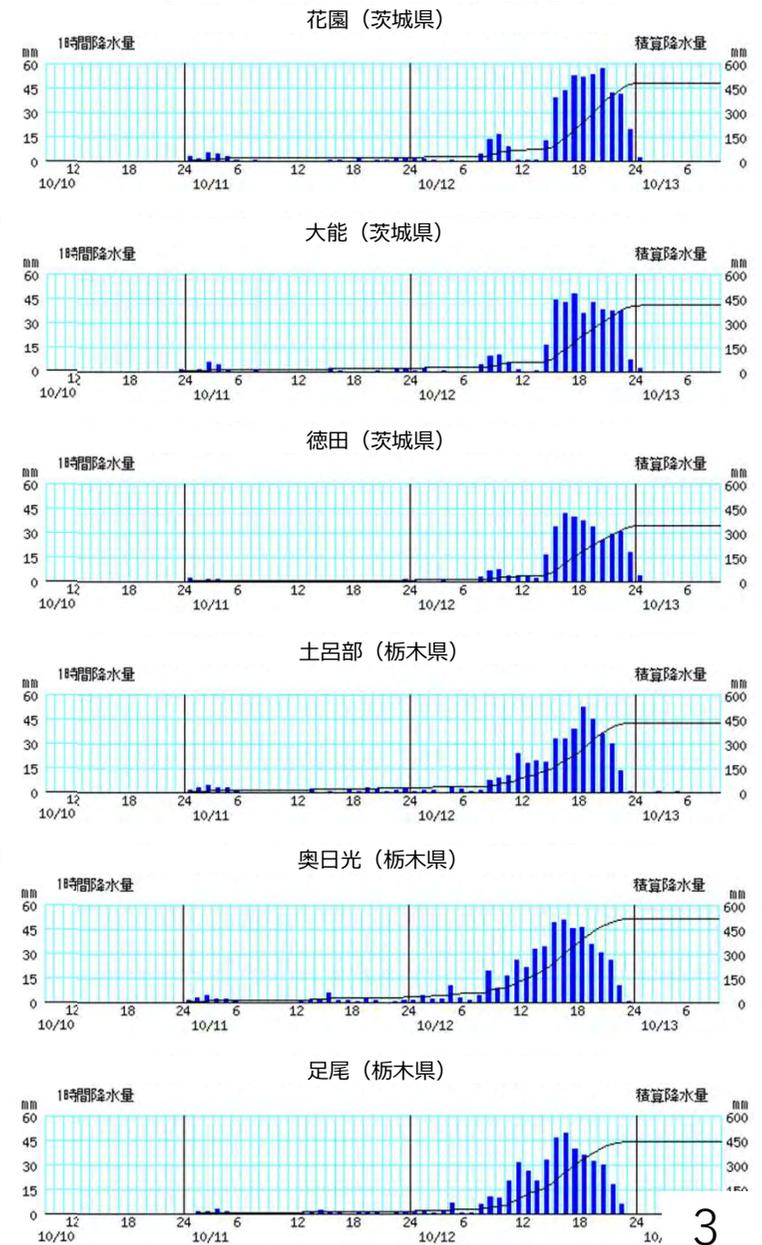


栃木県、茨城県における雨の状況

雨量分布図 (10日09時~13日09時)



雨量時系列図 (10日09時~13日09時)



台風第19号による記録的な大雨の気象要因

- ① 大型で非常に強い勢力をもった台風の接近による多量の水蒸気の流れ込み
- ② 局地的な前線の強化及び地形の効果などによる持続的な上昇流の形成
- ③ 台風中心付近の雨雲の通過

